

TALON Tips

< 1 回の実行で複数のテーブルにデータを更新する >
(他機能呼出)

株式会社 HOIPOI

第 1 . 2 版

1 目次

1	目次.....	2
2	はじめに.....	3
3	Tips セットアップ	4
3.1	事前準備	4
3.2	事前準備 2	4
3.3	セットアップ.....	4
3.4	セットアップ（その他）	5
4	Tips 概要	6
4.1	概要	6
4.2	処理フロー	7
4.2.1	処理フロー.....	7
4.2.2	処理内容.....	7
4.3	構築のポイント.....	7
4.4	サンプル機能.....	8
4.5	構築方法	8
4.5.1	TALON 機能の構築	9
4.6	利用 TALON 機能.....	11
5	改版履歴.....	12

2 はじめに

本資料はTALON機能を使用した活用例を掲載しております。

「**Tips 共通資料**」と合わせてご確認ください。

また、使用している機能の詳細につきましては「**310_TALON_機能構築マニュアル**」、基本的に機能の構築方法につきましては「**300_TALON_機能構築チュートリアル**」を合わせてご確認くださいよう願いたします。

補 足

.....

TALON Tips のセットアップは、事前に以下の準備が完了している必要があります。

- TALON 本体がセットアップ済みであること
※対応するバージョンについては当ドキュメントの改版履歴に記載しています。
 - TALON 標準ファンクションがセットアップ済みであること
 - TALON リポジトリ移送機能がセットアップ済みであること
-

<注意事項>

-  TALON バージョンにより画面イメージが異なる場合があります。

3 Tips セットアップ

当 Tips を利用する為に必要なセットアップ手順を記載いたします。

3.1 事前準備

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.1 事前準備」を参照してください。

3.2 事前準備 2

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.2 事前準備 2」を参照してください。

3.3 セットアップ

下記セットアップを実施してください。

No.	実施有無		
1	×	スクリプトパッチの適用	
2	○	機能のインストール	Tips 番号 : 0005 (リポジトリデータ : TLN_TIPS_0005)
3	○	機能のセットアップ	Tips 番号 : 0005
4	○	機能利用権限の付与	Tips 番号 : 0005
5	×	DocRoot ファイルの 配備	
6	×	その他	

3.4 セットアップ（その他）

当 Tips はその他の作業はありません。

4 Tips 概要

4.1 概要

1 回の確定処理で、複数のテーブルの更新を実施します。

データ入力後、確定ボタンを押下することで、仕入データと、在庫データの更新が実行されます

確定後、在庫照会画面を参照すると、在庫データが変更されていることを確認できます。

TALONデモユーザ

TIPS0005_仕入登録

検索条件 [] 起動時の初期条件にする 保存 削除

仕入番号 0001

A 4縦 PDF出力 在庫照会 クリア Excel出力

仕入ヘッダ 項目

仕入日 2017/03/21 仕入業者名 仕入業者

仕入明細 項目 1 50 検索結果: 2件

	商品コード	商品名	仕入数量
参照	ITEM_A	商品 A	11
参照	ITEM_B	商品 B	10

ファイルを選択 選択されていません

TALONデモユーザ LOG

TIPS0005_在庫照会 開じる

検索条件

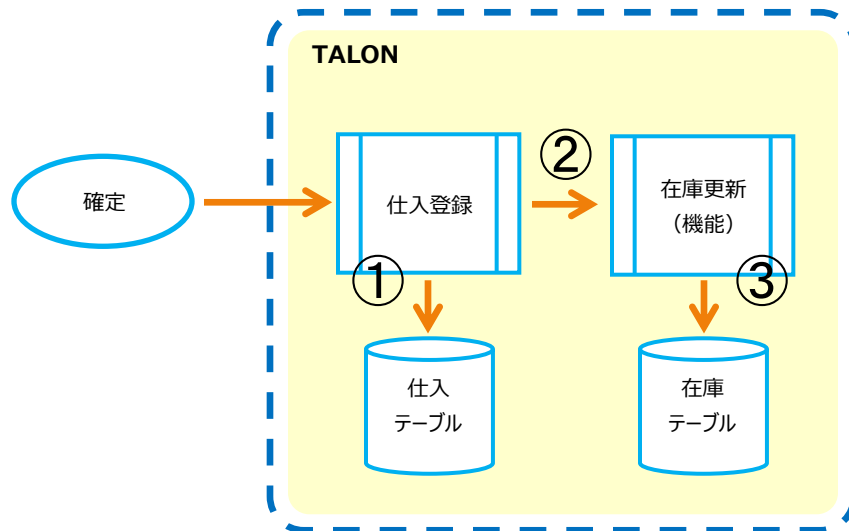
A 4縦 PDF出力 クリア Excel出力 検索

項目 1 50 検索結果: 2件

	商品コード	商品名	数量
参照	ITEM_A	商品 A	150
参照	ITEM_B	商品 B	150

4.2 処理フロー

4.2.1 処理フロー



4.2.2 処理内容

- ① 利用者による確定により、通常の TALON の処理を実施。
- ② 通常の処理を実行後、同じ入力値を使用して別機能の処理を実行。
- ③ 呼び出された機能に定義された TALON の処理を実施。

4.3 構築のポイント

- ① 最初の処理は通常の TALON の機能にて実施します。
- ② TALON の「[他機能呼出](#)」機能を利用することで、処理を実施後に別の機能を呼び出す事が可能です。
それにより、画面の入力値を元に複数のデータベースに更新を行うような仕組みを構築することが可能になります。
- ③ 他機能呼出により呼び出された機能は、指定されたインプットデータを元に、定義された TALON の処理を実施します。これにより①とは異なるテーブルに対しての更新を行うことが可能になります。

4.4 サンプル機能

➤ TALON、TALON 関連機能

関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0005_仕入登録	TALON	TLN_TIPS_0005_PURCHASE
TIPS0005_在庫更新（機能）	TALON	TLN_TIPS_0005_ZAIKO_FUNC
TIPS0005_在庫照会	TALON	TLN_TIPS_0005_ZAIKO_LIST
TIPS0005_仕入検索子画面	TALON	TLN_TIPS_0005_PURCHASE_LIST
TIPS0005_商品検索子画面	TALON	TLN_TIPS_0005_ITEM_LIST

➤ データベース関連

関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0005_仕入テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0005_PURCHASE
TIPS0005_仕入明細テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0005_PURCHASE_DTL
TIPS0005_在庫テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0005_ZAIKO
TIPS0005_商品マスタ	TABLE	TLN_TIPS_0005_ITEM_MST

4.5 構築方法

<機能構築の流れ>

TALON 機能の構築

①

単票明細タイプ(更新有)機能の構築

②

(他機能呼出で実行される) 単票タイプ(更新有)機能の構築

③

他機能呼出しの組み込み

① 単票明細タイプ（更新有）機能の構築

サンプル：仕入登録機能の構築

※ 機能構築チュートリアル「[単票明細メンテナンス機能の構築](#)」を参照してください。

Point

確定時に「検索時の(仕入)数量」を保持しておきます。

それにより、下記の「他機能呼出」にて、その値から画面で入力された値に変更されたとして制御できるようになります。

<追加項目>

■ 変更前仕入数量

SELECT 式に下記を追加して項目を追加しています。

```
,TLN_TIPS_0005_PURCHASE_DTL.PURCHASE_SU as PRE_PURCHASE_SU
```

② （他機能呼出で実行される）単票タイプ機能の構築

サンプル：在庫更新（機能）機能の構築

※ 機能構築チュートリアル「[単票メンテナンス機能の構築](#)」を参照してください。

Point

指定されたキー情報で数量の加算減算を実施する機能を構築します。
その為、サンプルではD B項目以外に下記のような項目を作成し、
数量項目には「**D B 設定式**」を使用した算出結果を更新するようにしています。

<追加項目>

■ 加算数量 / 減算数量 / 更新前数量

SELECT 式に下記を追加して項目を追加しています。

```
,0 AS INPUT_QTY  
,0 AS OUTPUT_QTY  
,TLN_TIPS_0005_ZAIKO.QTY as PRE_QTY
```

<D B 設定式> : 数量項目にD B 設定式を設定します。

■ $\%1_PRE_QTY\% - \%1_OUTPUT_QTY\% + \%1_INPUT_QTY\%$
→ 数量 = 更新前数量 - 減算数量 + 加算数量

他機能呼出し時に各項目に値を設定し、数量項目を更新します。

③ 他機能呼出の組み込み

サンプル：仕入登録機能に他機能呼出を組み込む

※ 他機能呼出の設定については機能構築マニュアル「**他機能呼出**」を参照してください。

Point

サンプルでは、登録時はプラス処理(黒処理)、修正時はマイナス→プラス処理(赤黒処理)を行っています。処理は設定した順番に実施されます。

① 処理が修正、もしくは削除の場合に実施

在庫更新処理パラメータ

- 1) 商品コード … 画面商品コード
- 2) 減算数量 … 変更前仕入数量

→指定された商品コードの在庫に対して、変更前仕入数量でマイナス処理(赤処理)が実施されます

② 処理が登録、もしくは修正の場合に実施

在庫更新処理パラメータ

- 1) 商品コード … 画面商品コード
- 2) 減算数量 … 画面仕入数量

→指定された商品コードの在庫に対して、画面の仕入数量でプラス処理(黒処理)が実施されます

- 6.10 DB 設定式
- 6.13 他機能呼出

5 改版履歴

日付	版数	内容
2017/04/01	第 1.0 版	初版
2018/07/10	第 1.1 版	TALON Ver4.1.5 に対応しました。 PostgreSQL に対応しました。
2019/06/01	第 1.2 版	TALON Ver5 に対応しました